

突哨山運営協議会 2017年度 第1回協議会

平成29年9月4日

職員会館

出席者 出羽寛 塩田惇 寺島一男 澤田勇 黒川博義 舟橋健 桐一郎
尾崎良司 近二小五十嵐教頭 旭川市役所矢萩正朋
事務局 山本牧 中村直人 富岡雅志 以上13名

1. 報告事項

①活動報告（主催・共催）※主催等の表記のないのは「運営協議会」が実施

- ・4月6～8日、22～30日 NHK 取材 さわやか自然百景（5/28放送）
- ・4月8日 比布町突哨山観察会「ぴっぴの自然たんけん隊」（比布町公民館）＜参加者～子ども11名・保護者5名・スタッフ11名＞。
子どもを対象に募集し、クイズ、樹液採取体験、マシュマロ焼き、樹液の試飲、樹液の持ち帰りなど実施。
- ・4月12日 近二小5・6年 白樺樹液採取体験（近二小）
＜参加者～子供7名、引率1名、スタッフ2名＞
- ・4月13、14日 花案内人講習会
＜参加者～13日4名、14日7名＞
- ・4月16日 花案内人現地講習会
＜参加者～10名＞
- ・4月21日 カタクリ広場ビニールハウスがけ（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・4月22日 ぴっぴの路整備作業（比布町役場）
＜参加者～25名＞
- ・4月某日 国道40号線に突哨山（村上山公園）への案内看板2カ所設置（カタクリの時期のみ）
- ・4月24日 近二小1・2年突哨山活動 カタクリ観察など（近二小）
＜参加者～子供14名、引率3名、スタッフ2名＞
- ・4月25日 近二小3・4年突哨山活動 生き物の痕跡など（近二小）
＜参加者～子供15名、引率3名、スタッフ2名＞
- ・4月26日 近二小5・6年突哨山活動 突哨山の歴史など（近二小）
＜参加者～子供7名、引率1名、スタッフ3名＞

- 4月27日 北海道大学環境科学院 ナニワズ調査1回目（別紙添付）
- 4月29日～5月7日 花案内人活動（もりねっと）（別紙添付）
- 5月1日 びびの路「ハナガサイチゲを返してください」看板設置
- 5月3日 カタクリフォーラム
（カタクリ楽団・突哨山と身近な自然を考える会）
- 5月3日 「びびの路を楽しもう！春の突哨山散策ツアー」（比布町公民館）
＜参加者～39名（うち、子ども15名）・スタッフ6名＞
- 5月6日 野の花観察会（突哨山と身近な自然を考える会・野の花グループ）＜参加者～17名＞
- 5月15日 突哨山運営協議会総会
- 5月25日 遊歩道距離測定（大雪と石狩の自然を守る会・大雪山マルハナバチ市民ネットワーク）（別紙添付）
- 6月6日 びびの路草刈り作業（6月から7月にかけて複数回実施）
- 6月9日 ササカタクリプロット調査（別紙添付）
- 6月11日 びびの路 外来植物抜き取り作業
- 6月14日 フラワーソン（野の花グループ）
＜参加者～14名＞
- 6月14日 北海道大学環境科学院 ナニワズ調査2回目（別紙添付）
- 6月20日 突哨山駐車場草刈り（もりねっと）
- 6月24、25日 みどりの回廊展参加（主催、旭川自然共生ネットワーク）
- 7月1日 コウモリ観察会（オサラッペコウモリ研究所・里山部）
＜参加者～35名＞
- 7月10日 遊歩道草刈り（もりねっと）
- 7月20日 頂上ルート草刈り、カタクリ広場看板更新（突哨山と身近な自然を考える会）
- 7月29日 野の花観察会（突哨山と身近な自然を考える会・野の花グループ）＜参加者～11名＞
- 8月8日 北海道大学環境科学院 土壌調査（別紙添付）
- 8月11日 野の花観察会（野の花グループ）
＜参加者～10名＞
- 8月30日 近二小3・4年突哨山活動 突哨山に住む生き物（近二小）
＜参加者～子供15名、引率3名、スタッフ2名＞
- 9月1日 近二小5・6年突哨山活動 突哨山の保全と利用（近二小）
＜参加者～子供7名、引率1名、スタッフ3名＞
- 9月4日 近二小1・2年突哨山活動 突哨山に住む生き物（近二小）
＜参加者～子供14名、引率3名、スタッフ2名＞

・活動報告について

黒川さん 9月1日の近二小5・6年突哨山活動は扇の沢から流れている突哨山の水がどういう経路で流れ、下流域の田んぼで使われているか、大雪土地改良区の協力のもと調査活動を行なった。

澤田さん 4月8日「ぴっぴの自然探検隊」、5月3日「ぴっぴの路を楽しもう！春の突哨山散策ツアー」は大変好評だった。子どもを対象にしたことが良かった。毎年2月に教育委員会、役場、突哨山運営協議会の三者で年間のプログラムを話し合っている。

・北大の調査活動について

舟橋さん 調査活動の条件提示書類に

突哨山運営協議会

会長 出羽 寛

NPO 法人もりねっと北海道

(突哨山指定管理者)

となっているが

突哨山運営協議会

会長 出羽 寛

突哨山指定管理者

(NPO 法人もりねっと北海道)

となるべきではないか。

旭川市役所矢萩さん 突哨山における調査活動依頼はまず公園みどり課で受け、その後運営協議会で検討し条件などを提示してもらい最終的に旭川市から許可を出すという流れになっている。

中村 調査活動に対する許可の流れは問題なかったが、表示方法については改善する。

・2017年度（突哨山）ササとカタクリ勢力調査について

塩田さん 今年度の調査では急激にササが増加しカタクリが減少している。今年度の調査時期が6月9日と例年よりも1ヶ月ほど遅かったが、それが調査結果に影響しているとは一概には言えない。

出羽さん 増加しているササは当年もののなのか。

山本さん ササの当年ものかどうかは区別していなかった。
調査プロットの上木の影響も考えられる。次回調査は例年通り5月中旬に行う。
調査方法を再検討する。前年・前々年のデータを現場に持参し参考にするなどが必要。

・突哨山遊歩道距離の測定結果について

寺島さん 大雪と石狩の自然を守る会及び大雪山マルハナバチ市民ネットワークにより実施された。調査は遊歩道の中心線をメジャーで実測して行なった。ガイドマップに記されている距離と多少差があった。特に谷渡りルートでは400メートル近く差があった。

出羽さん 計測結果は次回のガイドマップ作成に反映させたい。

主な活動写真



4月8日 ぴっぷの自然たんけん隊



5月1日 ハナガサイチゲ看板



4月27日 ナニワズ調査



6月14日 ナニワズ調査



7月20日 カタクリ広場看板

②突哨山運営協議会活動記録誌について

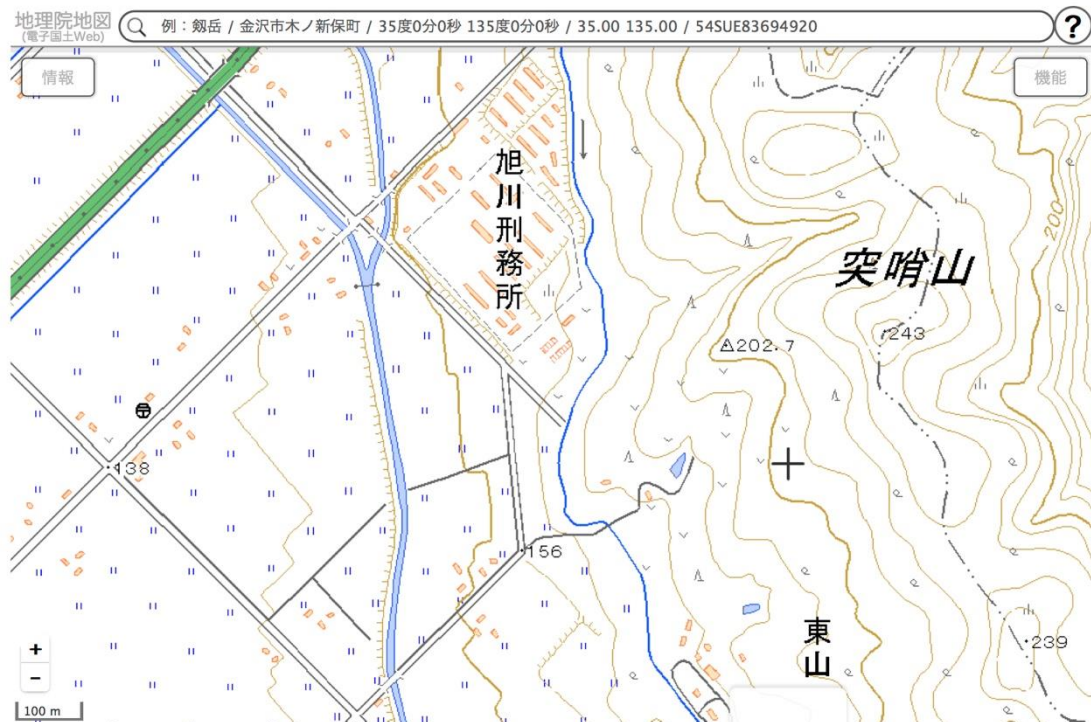
出羽さん 現在原稿が出ているのは澤田さんのみ。活動記録誌編集案については再度協議会全員へ周知する。原稿の締め切りを10月末へ延長し同時期に検討会議を行う。

③頂上地点標高実測値の国土地理院への申し入れについて

8月23日 国土地理院 広報広聴室へ電話にて問い合わせ
基本図情報部が担当部署であり、そちらへ測量資料を送付いただければ検討するとの回答を得る。

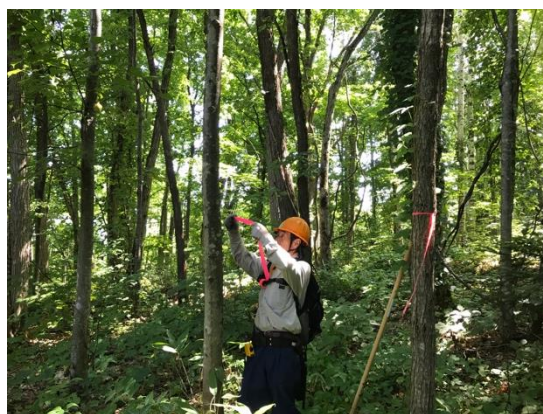
同日 測量資料コピーを送付。

8月31日 基本図情報部マツオ氏より電話連絡あり。
(株)安川測量さんの測量データをもとに国土地理院にて再度航空写真で測量データを検討し直す。国土地理院の標高データと差異が大きいことは認識した。地図上の等高線の書き換え等も検討しなければならず数ヶ月は要すとの回答だった。



④人工林間伐について

2017年の間伐は下図の赤線の範囲から2ha程度の予定です。人工林の樹種はトドマツ・ヨーロッパトウヒとなっていますが、長期間手入れがされておらず、シラカンバを中心にドロ、ミズナラ、センノキなどが多く自生しています。人工林の発生年は1970年で、樹齢は47年になりますが、現在、植樹された針葉樹はトドマツしか確認できず、胸高直径は10センチ前後のものがほとんどです。



間伐の施業方針としては、通常の人工林間伐ではなく、広葉樹を中心に将来有望な素性の良い木を選び、その周辺を抜き伐りしていく方法をとりたいと思います。間伐率は30%程度を見込んでいます。

中村 間伐の時期は10月1日から1ヶ月程度見込んでいます。

2. 協議事項

1. 現地検討会の日程について
9月下旬～10月初旬頃

10月9日（月） 9：00～ カタクリ広場集合
ガイドマップ「6番」人工林観察路検討

2. カタクリ広場草刈りの日程について

突哨山と身近な自然を考える会主催
9月6日（水）9：00～

その他協議事項

- 出羽さん 「芋煮会」日程調整し後日連絡します。
- 舟橋さん 扇の沢ルートなどぬかるんで歩きづらい場所が3箇所ぐらいある。
中村 扇の沢ルート入り口付近のぬかるみがひどい箇所は半割りの丸太のぐらつきを直しきちんと歩ける状態にした。

舟橋さん 扇の沢ルートに車が入った跡があった。入り口に車止めを設置するなど検討してほしい。
中村 車止めは設置します。
- 次回協議会について 12／4（月）18：00～
場所 自由軒

